

[省令第8条の4の6(1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の9(第8条の4の6関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年6月28日

(宛先) 長野市長 殿

提出者

住所 長野県長野市安茂里883

氏名 マルコメ株式会社

代表取締役社長 青木 時男

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-0255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	マルコメ株式会社 本社
事業場の所在地	長野県長野市安茂里883
事業の種類	味噌製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,968.33t	全処理委託量	3,168.33t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	優良認定処理業者への処理委託量	1,747.63t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	再生利用業者への処理委託量	1,920.00t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8,800.00t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	490.00t

※事務処理欄

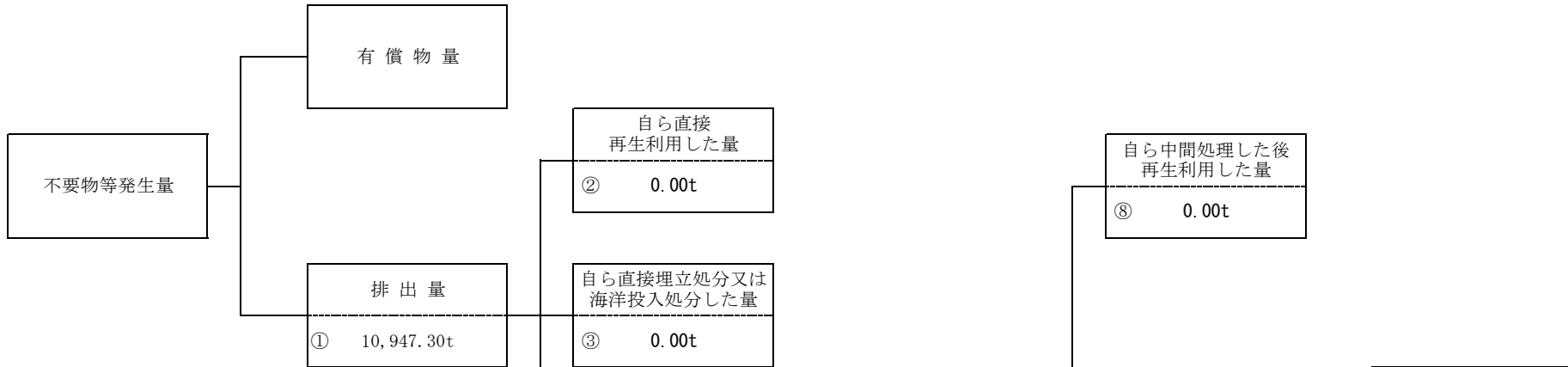
## 産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

	目標値	産業廃棄物の種類（実績値）												合計
		汚泥(上・下水、建設、その	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず	廃油						
排出量	① 11,968.33t	10,947.30t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t	0.63t						12,359.10t
自ら直接再生利用した量	②													0.00t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③													0.00t
自ら中間処理した量	④ 10,600.00t	10,557.30t												10,557.30t
④のうち熱回収を行った量	⑤													0.00t
自ら中間処理したのちの残さ量	⑥ 1,800.00t	2,111.46t												2,111.46t
自ら中間処理により減量した量	⑦ 8,800.00t	8,445.84t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	8,445.84t
自ら中間処理したのち再生利用した量	⑧			0.00t										0.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨													0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
直接及び自ら中間処理したのちの処理委託量	⑩ 3,168.33t	2,501.46t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,913.26t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 1,747.63t	616.25t	595.87t	658.71t	0.98t	102.11t	2.55t							1,976.47t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 1,920.00t	2,202.57t	41.61t	177.59t	0.16t	102.11t		0.63t						2,524.67t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0.00t													0.00t
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者	⑭ 490.00t			510.21t										510.21t

※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

計 画 の 実 施 状 況

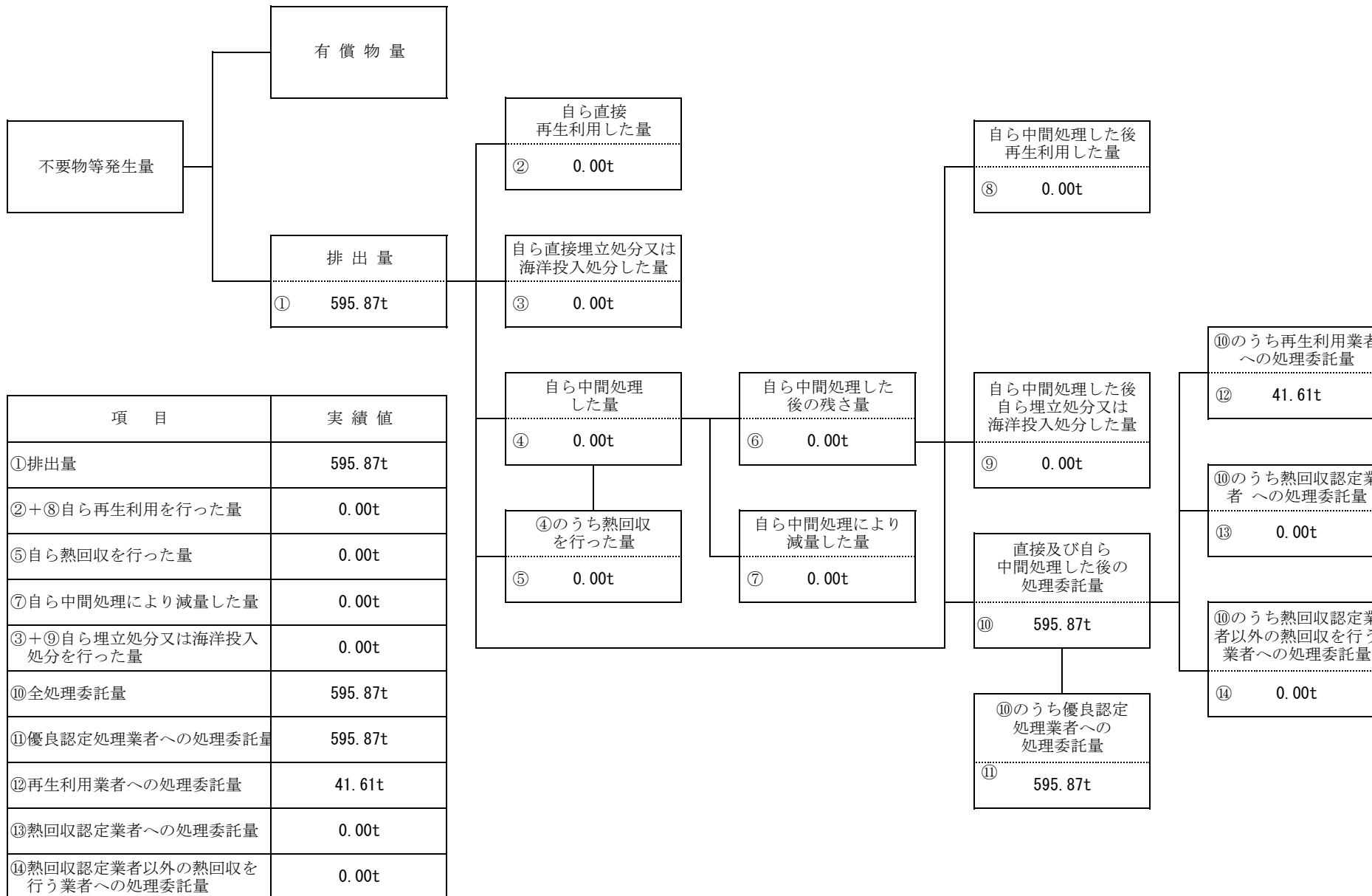
(産業廃棄物の種類: 汚泥(上・下水、建設、その他) )



項 目	実 績 値
①排 出 量	10,947.30t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	8,445.84t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	2,501.46t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	616.25t
⑫再生利用業者への処理委託量	2,202.57t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

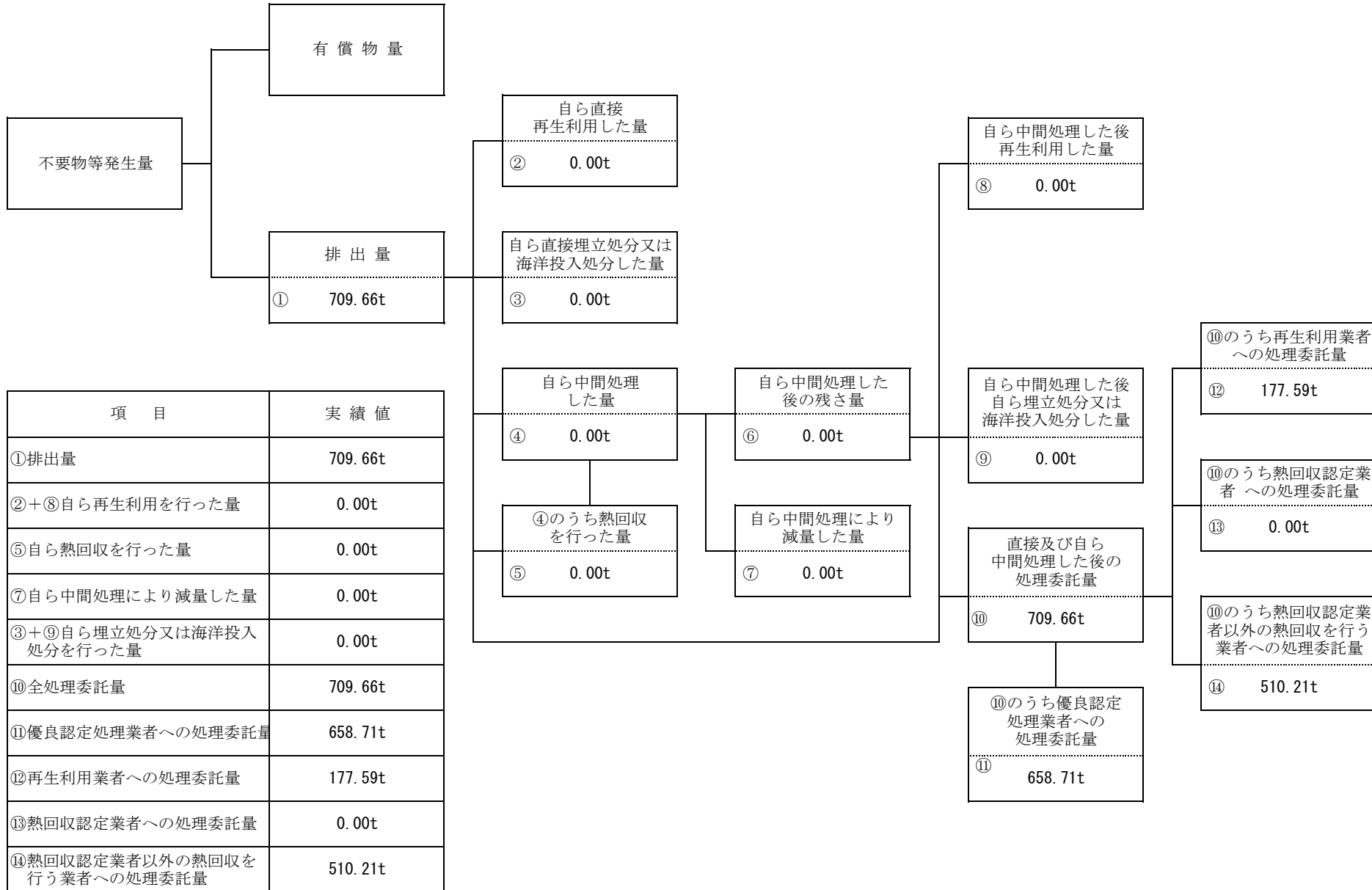
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む) )



項 目	実 績 値
①排出量	595.87t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	595.87t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	595.87t
⑫再生利用業者への処理委託量	41.61t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

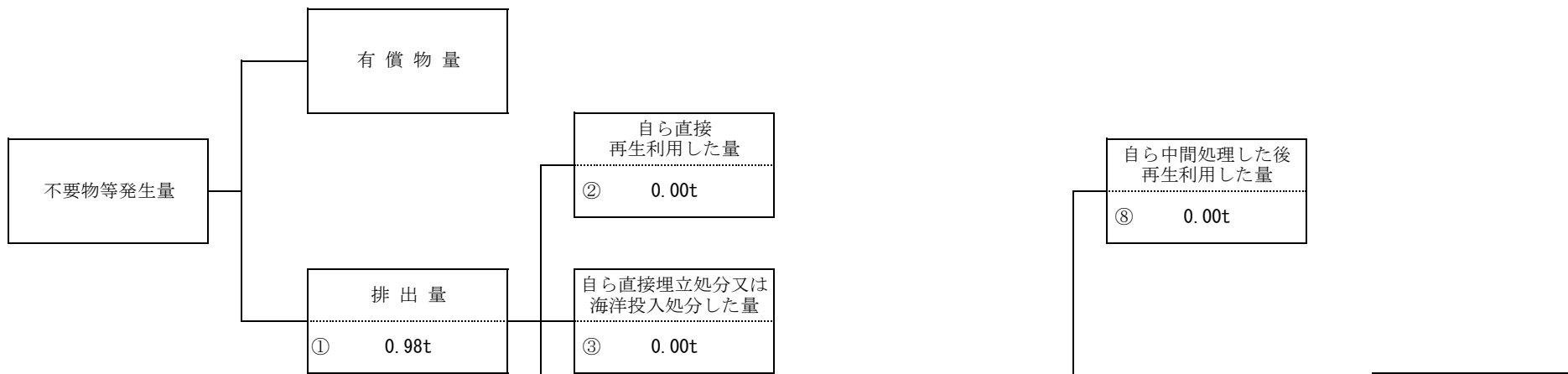
(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)



項 目	実 績 値
①排出量	709.66t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	709.66t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	658.71t
⑫再生利用業者への処理委託量	177.59t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	510.21t

計 画 の 実 施 状 況

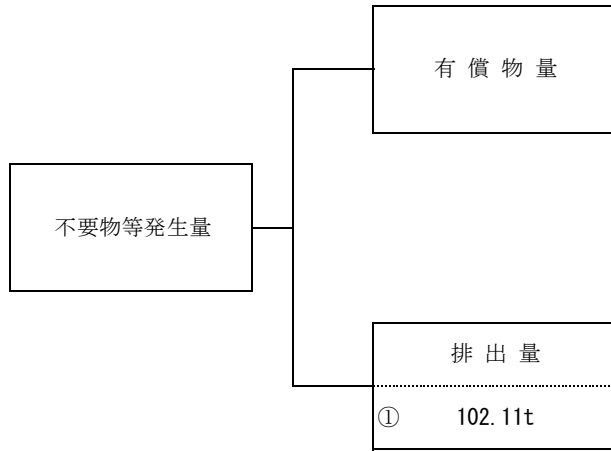
(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む) )



項 目	実 績 値
①排出量	0.98t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	0.98t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.98t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.16t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 金属くず )



自ら直接再生利用した量  
② 0.00t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0.00t

自ら中間処理した量  
④ 0.00t

④のうち熱回収を行った量  
⑤ 0.00t

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥ 0.00t

自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0.00t

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧ 0.00t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨ 0.00t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 102.11t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 102.11t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 102.11t

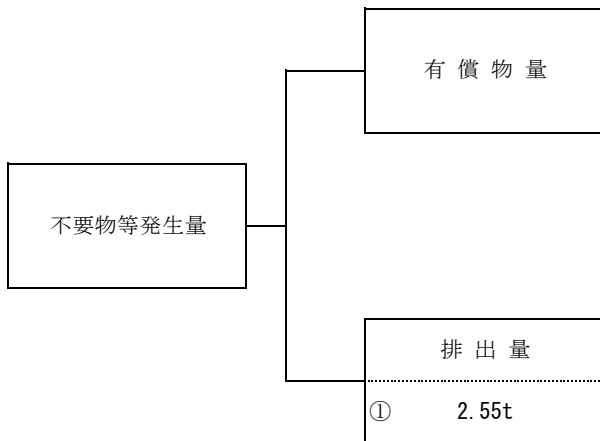
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0.00t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭ 0.00t

項 目	実 績 値
①排出量	102.11t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	102.11t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	102.11t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.11t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



自ら直接再生利用した量  
② 0.00t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0.00t

自ら中間処理した量  
④ 0.00t

④のうち熱回収を行った量  
⑤ 0.00t

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥ 0.00t

自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0.00t

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧ 0.00t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨ 0.00t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 2.55t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 2.55t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 0.00t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0.00t

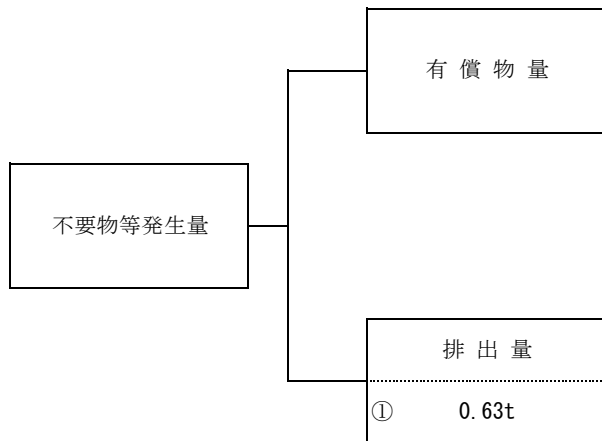
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭ 0.00t

項 目	実 績 値
①排出量	2.55t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	2.55t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.55t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

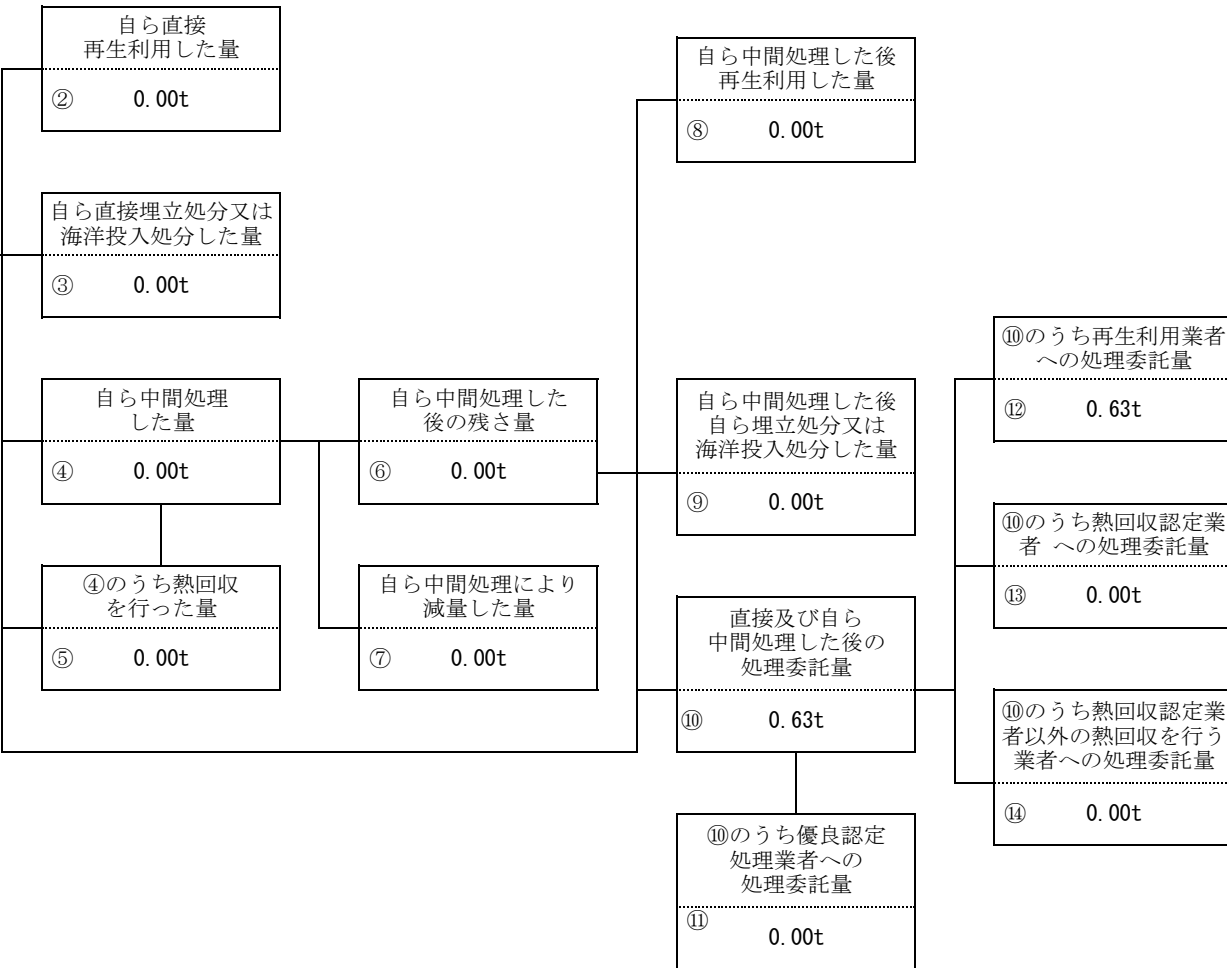


計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



項 目	実 績 値
①排出量	0.63t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	0.63t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.63t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が12以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。